

報道関係者各位

2007年11月9日

第13回 学生CGコンテスト 受賞作品発表

受賞作品展は2008年2月6日～17日まで。国立新美術館 入場無料

CG-ARTS協会（東京都中央区 理事長：永田圭司）は、第13回学生CGコンテストの受賞作品を決定いたしました。

静止画部門の最優秀賞は、幾何学図形を立体に表現した「captive julia」（作者：中山雅紀 / 慶應義塾大学大学院 理工学研究科 4年）、動画部門の最優秀賞は、童話の赤ずきんを新たな視点で描いた「迷走赤ずきん」（作者：pecoraped（西尾都・杉殿育恵） / 広島市立大学大学院 芸術学研究科 2年）、インタラクティブ部門の最優秀賞は、液体の熱対流現象を利用したインスタレーション「ene-geometrix.02」（作者：関根雅人 / 慶應義塾大学 環境情報学部 4年）となりました。

学生CGコンテストは、若い才能の発掘と発表の場を提供するために1995年から毎年開催。「第13回学生CGコンテスト」には日本各地の小学校2年生から大学院生まで、遠くはアメリカ、フランスなど各国の学生や留学生らから、総計1,195作品のご応募をいただきました。

また今回は18歳以下の方が対象となるU-18賞に2作品、静止画部門の概念を越えた新たな発想の1作品に特別賞が贈られます。

受賞作品展は、2008年2月6日から17日まで、国立新美術館（東京・六本木）にて文化庁メディア芸術祭の協賛事業として開催します。

今年度の特徴と傾向

- 応募数の増加。対前年比118%、1,195作品
- インタラクティブ部門の顕著な作品数増加、対前年比166%
- 小学2年生から大学院生まで幅広い年齢層からの応募
- 応募者の所属分野が広がり、高校の普通科や音大の学生が入賞
- 留学生の応募など海外への認知の広がり
- 部門を超えて作品の表現が融合し、多様化する傾向



今年度の最終審査会風景。昨年度表彰式、受賞作品展の様子。

この件に関する問合せ先

[報道関係] 広報 篠原たかこ、山本 アイコ <info@cgarts.or.jp>

[一般] 学生CGコンテスト事務局 <scg@cgarts.or.jp>

[TEL] 03-3535-3501 [FAX] 03-3562-4840 [URL] www.cgarts.or.jp/scg/

最優秀賞



静止画部門 「captive julia」

中山雅紀（慶應義塾大学大学院 理工学研究科開放環境科学専攻博士課程 4年）

〔講評〕フラクタル集合の二次元描画はすでに見慣れたものである。しかし3次元にした途端、これほど印象が変わることがとても興味深い。2次元では色鮮やかな表現が一般的であるのに対し、色彩を極力廃し、その形態と表面の凹凸や穴に注視させる表現も功を奏している。フラクタルな表面は、きわめて数学的なはずのアルゴリズムから生み出されたとは思えないアナログ感と、心地よい脆弱さを醸している。

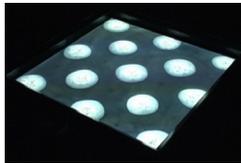


動画部門 「迷走赤ずきん」

pecoraped（西尾都・杉殿育恵）

（広島市立大学大学院 芸術学研究科 造形計画 メディア造形）

〔講評〕CD-ROMがマルチメディアともてはやされていた時代をあざ笑うかのような映像文法、インタラクティブでは無いのにインタラクティブ性を感じる細かいギミックの数々、華々しくも白々しいBGM、気が抜けたダイアログ、全てが巧い具合に統合された技ありの映像だ。作家グループによれば、本作品のテーマは「次元の視覚化」とのこと。意味することは不明だが、心地よいトリップをさせて頂いた。



インタラクティブ部門 「ene-geometrix.02」

関根雅人（慶應義塾大学 環境情報学部 4年）

〔講評〕熱対流を可視化するために、流体素材、熱源、容器等の実物を使い、実験を積み重ねて完成させた力作である。対流パターンを操作するためのGUIを加えることによって、通常見ることのできない流体の動きを、自由にあやつることができる。物理現象としての熱対流のもつ美しさと、インタラクションの面白さを高度に融合し、サイエンスとアートの新たな接点を切り開いた。

U-18 賞



静止画部門 「ORANGE-AID」

五反田芽依（神奈川県立工業高校 デザイン科 2年）

〔講評〕媚を売るのが仕事のはずのキャラが、日常的な風景のなかにただ、佇んでいる。その職務を忘れて、そして何の不思議もないかのように。バス停の看板は、このオレンジがとるに足らない日常の一部であるがゆえ、愛されていることを表しているようだ。



動画部門 「みんなぷりんがだいすき」

田島 由深（東京都立戸山高等学校 普通科 2年）

〔講評〕高校2年生の作者が音（音楽）とアニメーションとの関係性を追求した作品。何よりも素晴らしいのは主演の少女の生き生きとした表情だ。キャスティングというのは映像の世界において重要な要素であるというところを改めて感じさせてくれた。

特別賞



静止画部門 「inner blue」

西村伊央（多摩美術大学 美術学部情報デザイン学科 卒業）

〔講評〕水のさまざまな表情をプリントアウトし、それを巨大な壁面に展開したインスタレーション作品。個から全体へ、また全体から個へ、観察者の視点によって作品の表情は無限に変化していく。静止画の募集規定を守り、尚且つインスタレーションとしての空間構成も応募規定内でプレゼンテーションしている点が評価出来る。審査員全員が、実物が見てみたいという感想だった。いい意味で主催者側に”静止画部門”における応募規定の再考を促すきっかけとなる作品。

受賞作品一覧

(賞別に作品名五十音順)

静止画部門

賞	作品名	フリガナ	作者名	フリガナ	学校名	学部学科名	学年	出身地
最優秀賞	captive julia	キャプティブ・ジュリア	中山雅紀	ナカヤマ マサノリ	慶應義塾大学大学院	理工学研究科 博士課程		千葉県
優秀賞	BOTECH+art	ボテクアート	村山 誠	ムラヤマ マコト	情報科学芸術大学院大学	メディア表現研究科	1	神奈川県
優秀賞	Plugman	プラグマン	小山仁美	コヤマ ヒトミ	福岡デザイン専門学校	視覚情報デザイン科	2	山口県
佳作	machaon	マカオン	小野寺 瞬	オノデラ シュン	尚美学園大学	芸術情報学部情報表現学科	2	青森県
佳作	いけばな	イケバナ	内田達也	ウチダ タツヤ	東京造形大学	造形学部デザイン科	卒業	愛知県
佳作	井戸	イド	古谷理沙	フルヤ リサ	東京工学院専門学校	コンピュータグラフィックス科	1	東京都
佳作	書人体	ショジンタイ	櫻井大祐	サクライ ダイスケ	Academy of Art University	Fine Art: New Media	4	佐賀県
佳作	明鏡止水	メイキョウシスイ	竹内 舞	タケウチ マイ	埼玉県立芸術総合高等学校	映像芸術科	3	埼玉県
U-18	ORANGE - AID	オレンジエイド	五反田芽依	ゴタンダ メイ	神奈川工業高校	デザイン科	3	神奈川県
特別賞	inner blue	インナーブルー	西村伊央	ニシムラ イオ	多摩美術大学	美術学部情報デザイン学科	卒業	東京都

動画部門

賞	作品名	フリガナ	作者名	フリガナ	大学名	学科名	学年	出身地
最優秀賞	迷走赤ずきん	メイソウアカズキン	pecoraped(西尾都・杉殿育恵)	ペコラッド(ニシオミヤコ・スギドノイクエ)	広島市立大学大学院	芸術学研究科	2	広島県
優秀賞	Birthday	バースデイ	半崎信朗	ハンザキトシアキ	東京藝術大学大学院	デザイン科	2	東京都
優秀賞	蒲公英の姉	タンポポノアネ	坂元友介	サカモト ユウスケ	東京造形大学大学院	デザイン学科	1	栃木県
佳作	Hallucigenia	ハルキゲニア	永岡俊彦	ナガオカトシヒコ	デジタルハリウッド渋谷校	本科CG・Webクリエイター専攻	卒業	東京都
佳作	HOW TO COOK BREAKFAST?	ハウトゥークックブレイクファースト?	山崎涼子	ヤマザキ リョウコ	武蔵野美術大学 造形学部	視覚伝達デザイン学科	卒業	神奈川県
佳作	Stomachache Bee	スタマックエイク ビー	烏田晴奈	カラスダハルナ	国立音楽大学	音楽文化デザイン学科	4	広島県
佳作	THE CLOCKWORK CITY	クロックワークシティ	加藤 隆	カトウ リュウ	東京藝術大学大学院	デザイン学科	卒業	秋田県
佳作	雲の人 雨の人	クモノヒトアメノヒト	上甲トモヨシ	ジョウコウトモヨシ	東京工芸大学大学院	芸術学研究科	1	愛媛県
U-18	みんなぶりんがだいすき	ミンナプリンガダイスキ	田島由深	タジマ ヨシミ	東京都立戸山高等学校	普通科	2	東京都

インタラクティブ部門

賞	作品名	フリガナ	作者名	フリガナ	大学名	学科名	学年	出身地
最優秀賞	ene-geometrix.02	エネジオメトリクスゼロツー	関根雅人	セキネ マサト	慶應義塾大学	環境情報学部	4	栃木県
優秀賞	ASOBI TELEVI	アソビ テレビ	川和田将宏	カワワダ マサヒロ	金沢美術工芸大学	美術工芸学部デザイン科	卒業	愛知県
優秀賞	Kage no Sekai	カゲ ノ セカイ	内田有映 内藤まみ 平山詩芳 西尾淳志	ウチダユウ、ナイトウマミ、ヒラヤマシホ、ニシオアツシ	慶應義塾大学大学院	政策・メディア研究科	1	神奈川県
佳作	k o d a m a	コダマ	嶋田晃士	シマダ コウシ	静岡文化芸術大学大学院	デザイン研究科	2	京都府
佳作	Mountain Guitar	マウンテン ギター	金箱淳一	カネハコ シュンイチ	情報科学芸術大学院大学	メディア表現研究科	2	長野県
佳作	torikage	トリカゲ	木塚あゆみ 松本一輝	キツカ アユミ、マツモト カズキ	公立はこだて未来大学大学院	システム情報科学研究科	2	福岡県、広島県
佳作	音響書道	オンキョウショドウ	山口崇洋	ヤマグチ タカヒロ	多摩美術大学大学院	美術研究科	1	神奈川県
佳作	邂逅 わくらば	ワクラバ	田部井 勝	タベイ マサル	情報科学芸術大学院大学	メディア表現研究科	卒業	群馬県

結果報告

■応募作品数	静止画部門	771 作品	
	動画部門	301 作品	
	インタラクティブ部門	123 作品	合計 1,195 作品

■審査結果	静止画部門	最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品、佳作 5 作品
	動画部門	最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品、佳作 5 作品
	インタラクティブ部門	最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品、佳作 5 作品
	U-18 賞	各部門より 1 作品（インタラクティブ部門該当なし）

合計 最優秀賞 3 作品、優秀賞 6 作品、佳作 15 作品、U-18 賞 2 作品、特別賞 1 作品

■賞品	賞品： デジタルビデオカメラ、デジタルカメラ、周辺機器等 *提供： キヤノンマーケティングジャパン株式会社、日本シーゲイト株式会社
-----	--

実施概要

■名称	第 13 回 学生 CG コンテスト
■主催	CG-ARTS 協会（財団法人 画像情報教育振興協会）
■審査委員会 （敬称略・50 音順）	原田大三郎（審査委員長・多摩美術大学教授） 岩田洋夫（筑波大学教授） 内田まほろ（日本科学未来館キュレーター） 小阪 淳（アーティスト） 児玉幸子（電気通信大学准教授） 小林昭世（武蔵野美術大学教授） 塩田周三（ポリゴン・ピクチュアズ代表取締役） 杉山知之（デジタルハリウッド大学学長） 中谷日出（NHK 解説委員）
■応募期間	2007 年 7 月 5 日（木）～9 月 14 日（金）必着
■応募資格	アート・デザイン・エンターテインメント・工業分野など、ジャンルは不問、CG やデジタル技術を用いて作られた作品。学生であること。ただし、社会人学生や 2007 年 3 月に卒業された方の卒業制作作品なども対象となります。
■審査基準	制作過程の論理性・技術力・審美性・オリジナリティなどから、いかに新しい表現を追求しているかを評価します。

表彰式・受賞作品展

[会場]	国立新美術館（東京・六本木）
[表彰式]	2008 年 2 月 10 日（日）13:00～13:45 3 階講堂
[記念パーティ]	2008 年 2 月 10 日（日）14:00～15:00 3 階講堂
[受賞作品展]	2008 年 2 月 6 日（水）～17 日（日）
[展示内容]	受賞作品を中心とした作品展示と上映
[入場料]	無料

※文化庁メディア芸術祭協賛事業として同時開催にて行います。

CG-ARTS 協会（財団法人 画像情報教育振興協会）について

CG-ARTS協会は1992年に設立した文部科学省から設立認可を受けた財団で、主にCG分野における『人材育成』と『文化振興』を行っています。主な事業内容は以下の通りです。

- カリキュラムの編纂と教材の開発
- 3つの検定試験の実施
CGクリエイター検定／Webデザイナー検定／CGエンジニア検定／
画像処理エンジニア検定／マルチメディア検定
- 教育環境の整備・普及と指導者の養成
- 学生CGコンテストの主催
- 文化庁メディア芸術祭の主催
- 文化庁メディア芸術プラザの企画運営

□会員企業

<理事会員>

株式会社NTTデータ／キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社／株式会社電通／日本SGI株式会社／日本電気株式会社／株式会社博報堂

<会員>

株式会社アスキー／株式会社インフォバーン／株式会社インプレスジャパン／株式会社ウチダ人材開発センタ／オートデスク株式会社／株式会社大林組／キヤノンシステムアンドサポート株式会社／キヤノンシステムソリューションズ株式会社／キヤノンソフトウェア株式会社／キヤノンネットワークコミュニケーションズ株式会社／株式会社クリエイティブ・コミュニティサービス／株式会社クリエイティブ・21／コムズ株式会社／株式会社資生堂／ジャパン・デジタル・コンテンツ信託株式会社／新日鉄ソリューションズ株式会社／ソフトバンククリエイティブ株式会社／株式会社ソフト流通センター／大日本印刷株式会社／株式会社丹青社／株式会社テレビ朝日／株式会社テレビ東京／株式会社電通テック／株式会社東京放送／凸版印刷株式会社／株式会社日経BP／株式会社日交／日興美術株式会社／日本テレビ放送網株式会社／日本ヒューレット・パカード株式会社／株式会社ビーエス朝日／株式会社ビーエスフジ／ビジネスデザイン株式会社／富士通株式会社／株式会社フジテレビジョン／株式会社プレシース／株式会社プロネット／プロレクサス株式会社／株式会社メンバース／株式会社ライトパブリシティ／株式会社レイ（50音順 2007年10月現在）